

4. アンケート結果

4-1. 全体の結果（シンポジウム）

参加者総数：175名

有効回答数：105件

図1. 参加理由（複数回答可）

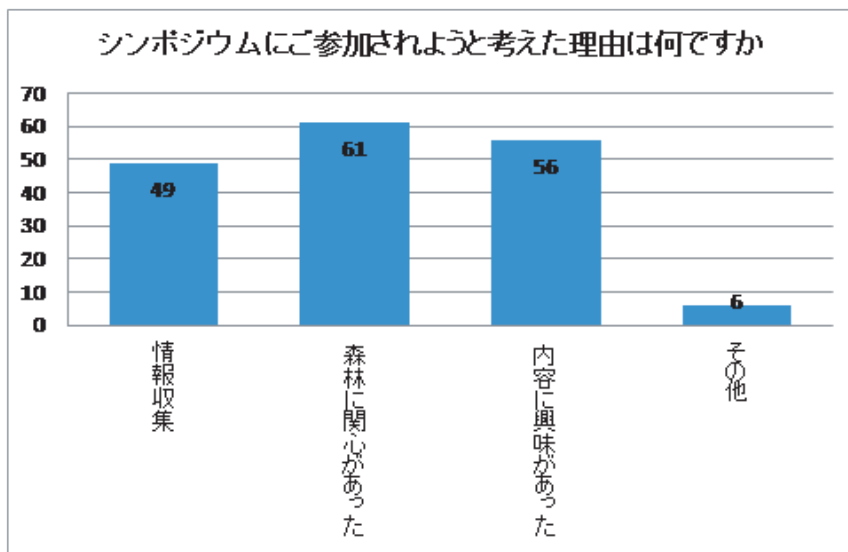
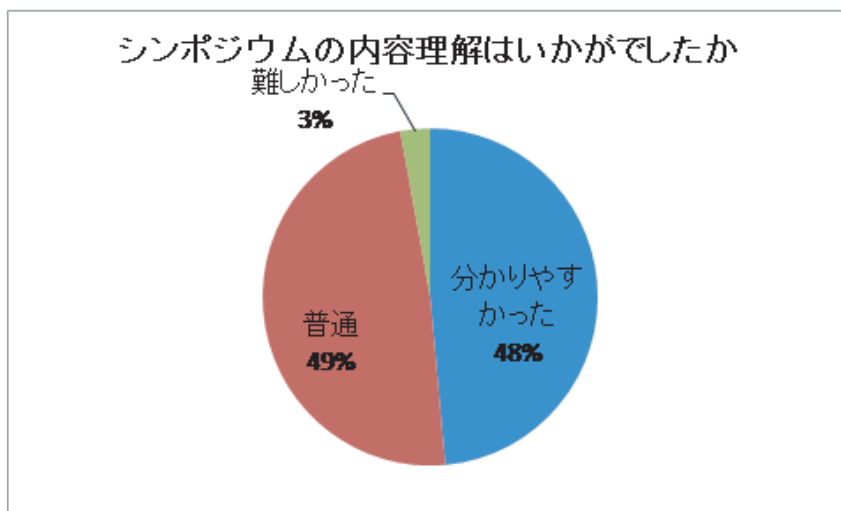


図2. 内容理解



4. アンケート結果

図3. 生物多様性への理解の深まり

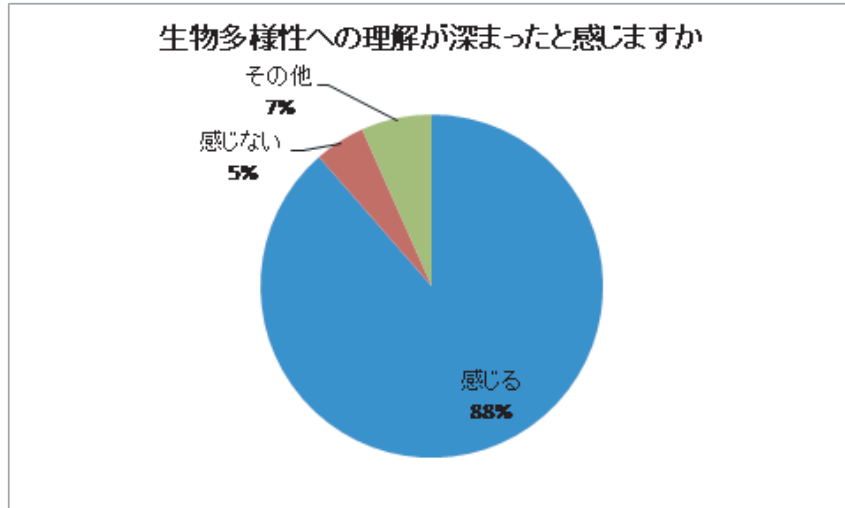
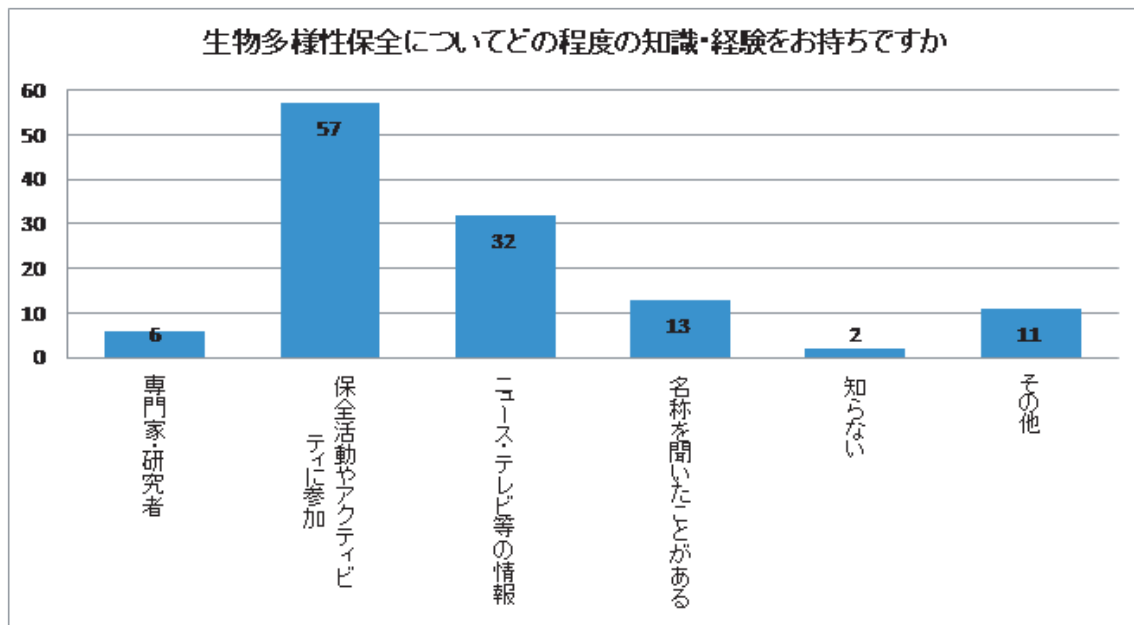
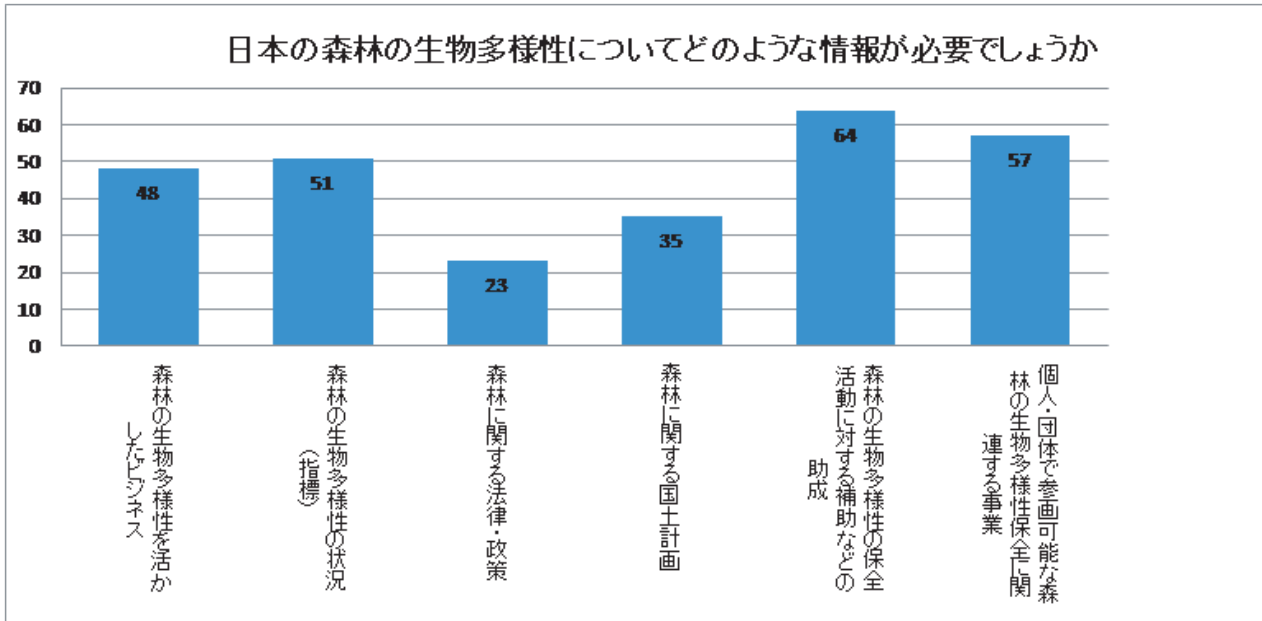


図4. 生物多様性保全の知識・経験（複数回答可）



4. アンケート結果

図5. 日本の森林の生物多様性についてどのような情報が必要か（複数回答可）



4. アンケート結果

4-2. 全体の結果（森林見学ツアー）

参加者総数：96名

有効回答数：77件

図6. 参加理由（複数回答可）

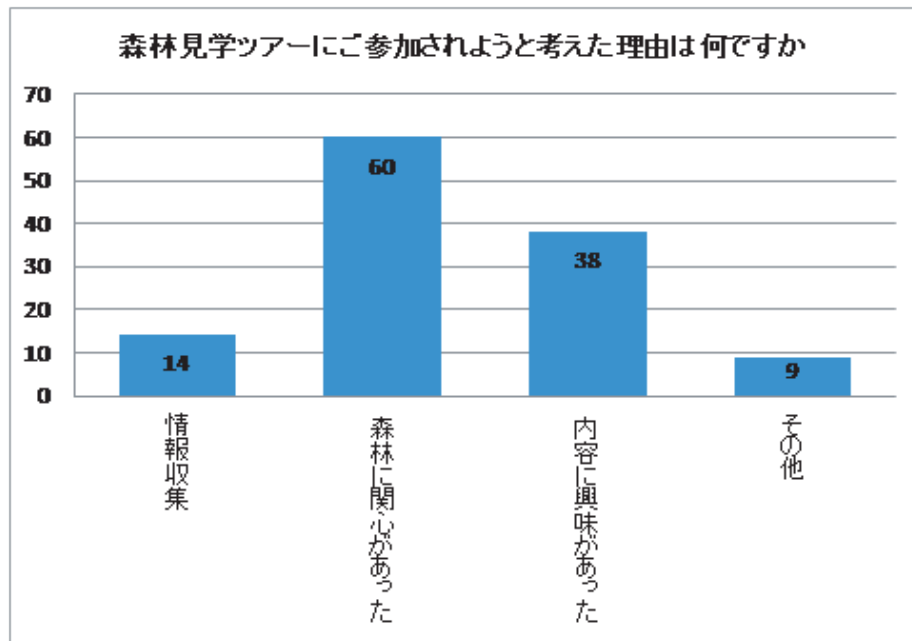
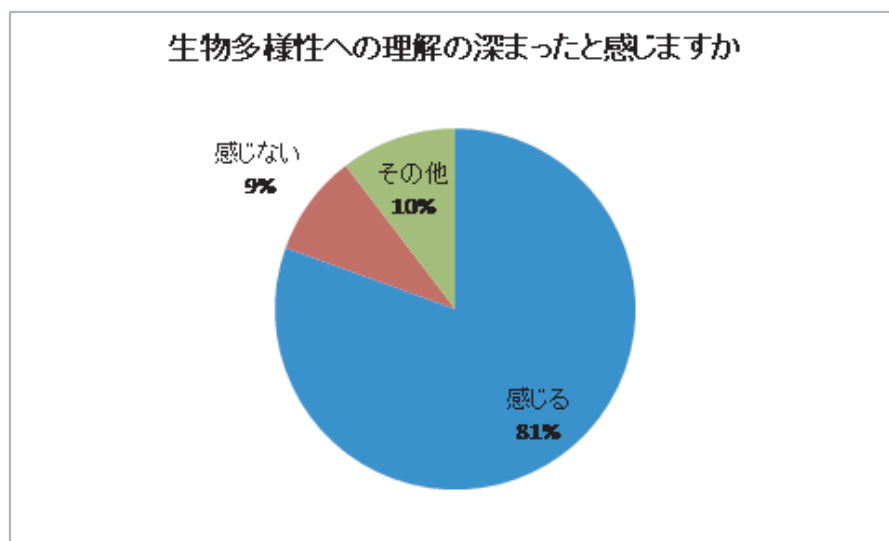


図7. 生物多様性への理解の深まり



4. アンケート結果

図8. 生物多様性保全の知識・経験（複数回答可）

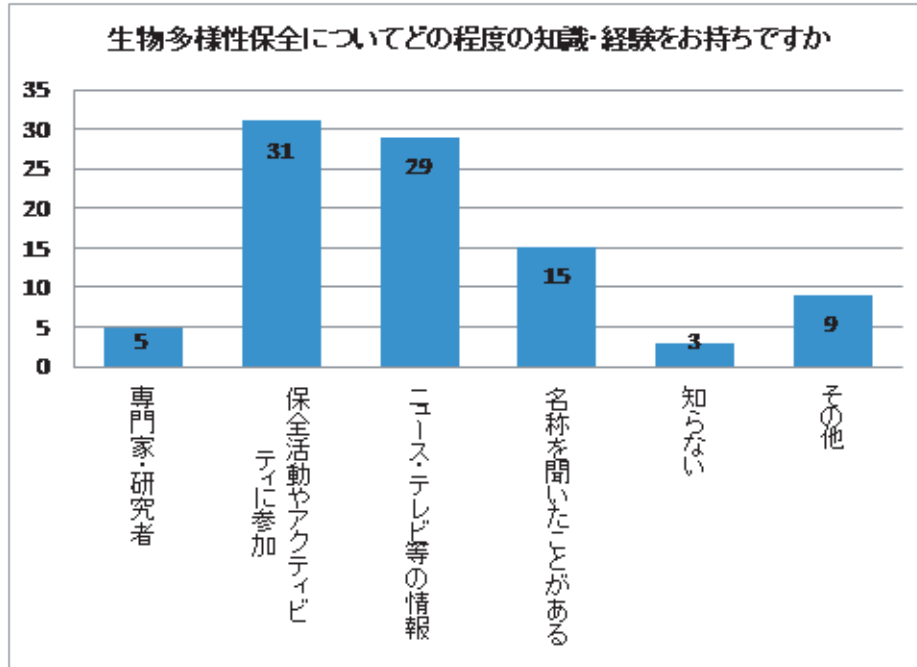
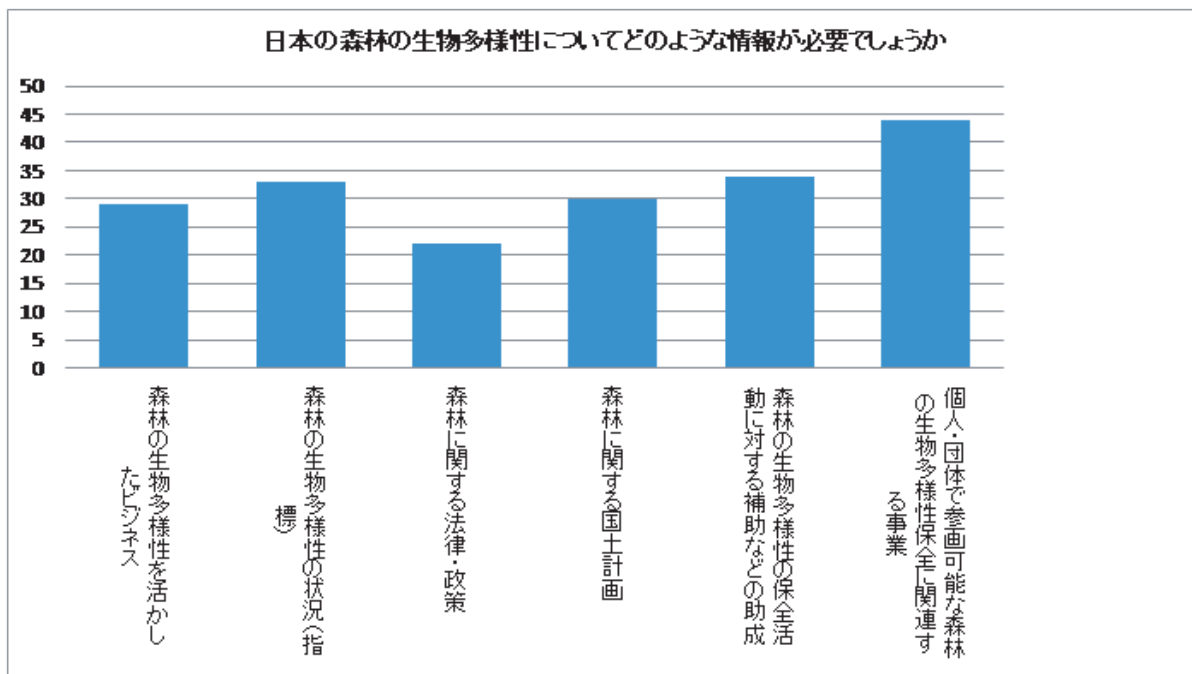


図9. 日本の森林の生物多様性についてどのような情報が必要か（複数回答可）



4. アンケート結果

4-3. 各会場の感想・コメント

◆関東 - シンポジウム

- ・由井先生のお話にあった、イヌワシの目線で森林整備をする姿勢は、今後の活動に活かしたいです。小井沼様のお話を聞いて、見学ツアーが楽しみにになりました。
- ・学術研究と具体的事例の発表がとても参考になりました。列状間伐、シカさんガードの発展はとても面白いアイデアだと感じました。一方で生物多様性（条約）が何かについて経済的な切り口による説明があっても良かったのではないかと思います。
- ・今回このようなシンポジウムに初めて参加したので、全てが刺激のある情報でした。具体的に活動されている方々の話でしたので、危機感も伝わってきました。「生物多様性」人としてどう関わるべきか考えさせられました。今後も関心を持ち関われることに参加していきたいと思いました。
- ・手を加えることで、生物多様性を育み、維持していくということを学ばせて頂きました。
- ・生物多様性について知識があまりなかったのですが、今回のシンポジウムで理解が深まりました。
- ・全国5カ所でこのようなシンポジウムと森林理解を深める見学ツアーが開かれるのは大変意義深いです。今後も森林業に関わる人や木材産地の人が集う森林サミットが開催されると良いと思います。守ること、伐採すること、利用することをこの様な討論でつなげて行って欲しいです。
- ・東京での開催なので、東京の生き物と林業や森林の共生について、希少種などを含めた話が聞ければ良かったです。
- ・針広混合林の話やアグロフォレストリーなどの話も伺いたかったです。また、素人が参加出来る活動についても機会があれば伺いたいです。
- ・生物多様性について人間生活における生態系サービスとして、大きく根幹に関わっていることを一般市民の大部分は知りません。マスコミ、TVでも言葉としては聞かされますが、その内容についてはまだ不十分です。
- ・全体的なテーマが分かりにくかったように感じますので、もう少し講演のテーマと事例の繋がりがあれば良かったと思います。

4. アンケート結果

◆関東 - 森林見学ツアー

・昨日のシンポジウムと本日のツアー両方参加させて頂き、「森林」「生物多様性」に興味を持ちました。実際活動されている方々の数々の実験の成果を生で見ることが出来、良い体験をさせて頂きました。想像より傾斜のある現場には驚きました。森林の中の空気や気持ちよさを肌で感じられ、癒されました。

・シカの保護柵は一般に普及しているのか実情を知りたいです。地元の森林ボランティアの熱意には関心致しました。木材生産と環境（CO2吸収、水源など）は両立出来れば、森林は甦ると思われます。

・シカ対策の現場を見られて、働いている方々のご苦勞、森の現状を知ることが出来て、勉強になりました。

・日本は緑の山々が豊かな国だと感じます。森はパワーにあふれ、木々の木漏れ日やいろんな草花が咲き、楽しませてくれ、心を元気にしてくれる場所だと感じます。これからも森の保全が大切だと思いました。

・東京の山の現状を広く知ることが出来る企画で良かったと思います。次世代にどのようにこの自然を引きついでいくか考えるきっかけとなりました。

・参加者との情報共有が有意義でした。企業関係者（企業の立場からの参加）が意外に多いと思いました。

・東京都の森林の抱える問題、課題が分かりました。そして、ボランティアの方々の想像を超える働きについても知ることが出来ました。とても良かったのですが、今後取り組もうという方々を増やすことが一つの目的であるならば、大変さがちょっと際立ったようにも思いました。

・国内の林業は崩れ去ろうとしている厳しい状況であることの理解が出来ました。低い食料自給率と同様の課題として国としての対応が是非必要だと感じました。

・シンポジウムで聞いたことなどがより理解出来て、それに派生した話等も聞けたり、感じたり出来て良かったです。木材、シカの話を中心に日本の山の今の状態を知り、木が多いただけではだめなのかと改めて感じました。

・森林・環境問題に詳しい主催者と現地案内のおかげで、なかなか体験出来ない貴重な経験が出来、感謝しています。今後もこの様な活動を続けて欲しいと共に、農林関係の行政責任者や森林組合の話なども聞いてみたいです。

・シカガードの見学は良かったです。それだけでは、「生物多様性を学ぶ」のは難しいと感じました。シンポジウムに参加できなかったのも、ツアーでももう少し内容を掘り下げて欲しかったです。シカとイノシシの話以外はほとんど生物の話はなかったと思います。

・森林の現状を通じて、シカなどの生き物のバランスについて実情と合わせて理解しやすかったです。前日のシンポジウムが前提な話が何点かあったので、不参加の人には分かり難い点がありました。

4. アンケート結果

◆北海道 - シンポジウム

- ・梶先生のお話で単なる保存林でない施業林の方が、植物の為になっていることを知り、演習林の歩みを聞いて興味を持ちました。森に手をかけるのは大変なことだと知りました。林業は大変なのだと感じました。
- ・梶先生のお話が興味深く、勉強になりました。できればそのお話に続いて、富良野の東大演習林の見学をさせて頂けたら嬉しかったです。お話を聞けば必ずそこへ行ってみたいとなります。アポイ岳も猿払川も行ってみたいと思いますし、明日の王子製紙の森も楽しみです。
- ・地球環境や生物多様性の劣化について危機的な印象が強い中、王子製紙の様な大きな企業が公益的な高い意識で地域の方々と結びついて活動されていることを心強く思いました。各パネラーの方々のお話も生き生きとして大変興味深く勉強になりました。
- ・活動について生の声が聞かれて良かったです。
- ・森林だけでなく自然環境全体的な視点から生物多様性を考える学習する機会があれば良かったです。
- ・内容はよかったです。事前PRをもっと規模を大きくやるべきだと思います。

◆北海道-森林見学ツアー

- ・なかなか入れない民間社有林に入れて大変良かったです。所長さんの説明は人柄も良く感動しました。
- ・北海道を代表する製紙工場、王子製紙の木材利用と社有林の様子を見ることが出来、貴重な体験でした。前から樹木にとって成長が悪い土地だとは思っていたのですが、土をはじめ苫小牧の気候が影響していたことが分かりました。また、パルプとなる木材も大半が輸入ということで、苫小牧の社有林の様子からも自給できるほどの材を得ることが難しいということも分かりました。こうした状況でも成長しやすい森づくりをするにはどうしたらいいのか考えるきっかけになりました。
- ・めったに訪れるチャンスのない社有林を現場で管理しておられる所長さんのガイド付きで見学出来たのは、誠に幸運でした。要を得た解説のおかげで森林の姿が良く分かり、保全管理することの大切さを知りました。非常に有意義なツアーでした。
- ・個人的には見ること、聞くことの出来ない体験をさせて頂き、勉強になりました。スタッフの方、現地の方、全員誠意をもって対応してくださり、感謝します。水源林には感動致しました。
- ・二酸化炭素吸収、水資源保全など今後重要なテーマになると思いますので、これからもどんどん有意義なイベントを開催して欲しいです。私は行政の立場ですので、民間の方とじっくり話が出来る楽しかったと思います。
- ・生物多様性ということでテーマが難しかったのですが、王子山林の水源地などを見ることが出来、貴重な体験が出来ました。森林と動植物との関わりあい、生物多様性を保全するためにはどうしたら良いのでしょうか。どのような取り組みを行い、その結果どうなったのかがもう少し盛り込まれていればもっと良かったです。しかし、生物多様性の取り組みは、まだ始まったばかりなので、今後王子緑化などの取り組み結果及び成果が出てくるのかもしれませんが、全体を通して鳥類・魚類・木本類・草本類・菌類（きのこ）・哺乳類など様々なものを肌で感じる事が出来、生物多様性を楽しく理解出来たと思います。植物・動物などの専門家の話が聞けたら、もっと良かったです。
- ・森林の中での散策や解説の時間がもう少し長いと良かったです。
- ・場所を限定しもっと歩いて、森を観察したかったです。

4. アンケート結果

◆中部 - シンポジウム

- ・加子母の森林管理の話は大変興味深かったです。是非一度行って森を歩いてみたいと思います。基調講演の香坂先生の話も興味深かったです。条約等について良く分かりました。
- ・事例発表が良かったです。特に小串氏の発表は私にとって初めての内容でした。
- ・講演者の方々がフィールドで得たお話を聞いて有意義でした。
- ・良い人選でした。明日の見学会も楽しみになりました。
- ・いろいろな立場の専門家が掘り下げてかつ分かりやすく説明してくれたので、とても良い内容でした。理解しやすかったです。一般の人をもっとたくさん参加すると良いのにと感じました。
- ・適切な講師により適切な情報が伺えて、良かったです。企画が重要な中で主催者の貢献大と感じました。
- ・シンポジウムと見学ツアーを合わせた企画は良い方法だと思います。頭で考えるだけでなく、現場を見て感じ理解することが大切だと思います。
- ・国際的な大きな流れ、現場での取組、市民の取組みという異なる角度から生物多様性を考える視点は良かったが、3者の発表がリンクしきれていないように感じました。

◆中部・森林見学ツアー

- ・地域に根差した話上手な森林組合組長内木氏のお話は楽しく、森の空気、水にひと時触れ、リフレッシュ出来ました。
- ・実際に林業に携わる森林組合の方の話聞くことが出来て参考になりました。取り組んでみたい、参考となる事例がみられました。森林見学ツアーを实践したいと考えており、色々な気付き、ヒントがありました。
- ・山の奥まで見学出来、大変有意義でした。森林組合の方にもスタッフの方々にも大変お世話になりました。また、新たな企画があれば、参加したいです。
- ・スタッフの対応も良く、また、加子母森林組合の親切な説明等歴史も奥深い加子母森林組合の取組み等大変参考になりました。
- ・森を守る仕事の大変さと重要性が大変良く分かりました。お話が分かりやすく、バス移動は楽で良かったです。お弁当も美味しかったです。
- ・普段は入れないところまでご案内頂きありがとうございました。また組合長内木氏の育成林の話もとても分かりやすく参考になりました。
- ・素晴らしいものを見せて頂き、大変勉強になりました。
- ・とても楽しかったですが、集合を早くして、もっと森にいる時間を増やしても良いと思います。

4. アンケート結果

◆関西-シンポジウム

- ・生物多様性を重視した森林づくりの必要性が分かりました。
- ・事例発表では、具体的な環境保全に関する内容だったので、分かりやすく、とても参考になりました。
- ・具体的な事例を知ることができて良かったです。
- ・限られた場所でしか生物多様性を聞かないので、国際森林年であるのだから、国も声を大にして頂けると良いです。今回のシンポジウムを通して、自分の地域がとても恵まれているのだと感じました。人の手を入れるところは入れ、保全に努めたいと思います。
- ・規模、スケジュールとも適切でした。また、内容も詳しく、分かりやすかったです。
- ・森林再生活動が主体で、生物多様性そのもののデータ（実態）が少なかったように思います。
- ・内容はネット配信でも十分なものだと思います。一回で終わりではなく、今後いろいろな人に見てもらえるような工夫（you tube等）が必要だと思います。
- ・せっかくの意義あるイベントなのだから、もっとたくさんの人に聞いてもらえるよう、キャパの大きな会場で実施すべきです。

◆関西-森林見学ツアー

- ・多様な生物がいることを改めて知ることが出来ました。解説も楽しかったです。変形菌を知ったのが一番の収穫でした。
- ・河内長野市は環境の良いところでした。烏帽子形公園も凄かったです。きのこの世界は深すぎます。またこの様な機会があれば参加したいです。
- ・解説してくださる方が多かったので、直ぐに質問でき、参加型ツアーで楽しめました。
- ・シンポジウム不参加の方も分かるように、前半のタカシマヤの森づくり見学の内容や説明がもう少し具体的に参加者に伝えられると良かったのではないかと思います。概要説明だけでなくもう少し生の声を聞きたかったです。後半の見学会おもしろかったです。
- ・想像していたよりも若い方、女性の方がたくさんいらっしゃって驚きました。このように多くの方が森にふれるきっかけづくりというのはとても大切だと思います。とても素晴らしい取組だと思うので、もともと森林について興味がある方だけでなく、より幅広い層に参加して頂けるような広告なども大切になるのかなと思いました。（手軽に1時間だけ参加出来る会とか、地元の美味しいものを食べる会の付属として森の話を入れるなど。）
- ・もっと説明があるものと思っていましたが、気楽な感じで楽しめました。
- ・様々な体験が出来て楽しいツアーでした。特に烏帽子形公園楽しかったです。ランチも美味しかったです。
- ・童心に帰れました。変形菌（粘菌）の存在を初めて知りました。また参加したいなと思えるツアーでした。
- ・もっと森林の中を歩いて見たかったです。

4. アンケート結果

◆九州-シンポジウム

- ・林野庁からの報告で多方面にわたって保全や調査の方法が行われていることが分かって良かったです。足の下の生物多様性の話は初めてだったので、興味深かったです。
- ・土壌生物は普段考えたことがなかったので、刺激的なお話でした。
- ・とても面白かったです。特に、土壌動物の話は興味深かったです。未間伐林の話については、改めて多様性の難しさを考えさせられました。
- ・事例発表がとても良かったです。いろいろな点にとっても参考になりました。生き生きと話をされているのがとても感動しました。
- ・半日で盛りだくさんの内容だったので、広く浅くという内容になったようですが、パネルディスカッションで少し具体的な話があって良かったです。でも、知らない事ばかりでした。今後、私自身深めたり、活動していったりする契機となりました。
- ・地球温暖化に対して植物の果たす役割について理解出来たし、その植物を育てた後に必要な土を作るために分解者が必要だと感じました。
- ・現在多々活動をしているが、安全面の方が疎かだったと感じました。骨折や毒虫、蛇等に噛まれた場合の処置などの知識があれば、安心して山や森に入れると思います。
- ・土壌生物の多様性については、はじめて聞くことが出来て良かったです。ただし、どう考え、保全すべきなのか具体的な話が無く、残念でした。（里山化→下草刈り→土壌生物の多様性変化→動物種へのダメージ）開発する時は、保全は出来ないのでしょうか。保存種を選べばよいのでしょうか。
- ・面白い企画でした。他地域の情報を積極的に発信して頂ければと思います。

◆九州-森林見学ツアー

- ・小人数だったので丁寧に説明して頂けて、とても良かったです。次に同じような機会があれば、また参加したいです。
- ・事例発表と現地での説明を受けて理解が深まったと思います。
- ・今後も同様の活動を続けてもらいたいです。
- ・ただ歩いていただけでは気付けないことを教えて頂けて、とても勉強になりました。
- ・場所によって様々な植物や昆虫がいて、面白かったです。バッタは草のあるところにしか生息せず、様々な種類がいることも始めて知りました。
- ・普段山歩きをしてはいるが、森の中をゆっくり歩いたことがなかったので、普段と違う発見があり、面白かったです。
- ・アカマツ林の保全現場が見られ、実際に保全されている方のお話が聞け、大変興味深かったです。かつて人が利用されていた里山をどのように保全して再生するかという視点からも大変参考になりました。
- ・直前に企画を知りました。参加者が少ないので、告知方法に工夫が必要だと思います。